

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 中種子町立中種子中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第1学年52人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間、特別の教科道徳）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>○ パラリンピックを通して、障がいのある人にとって、よりよい共生社会を実現するために、障がいのある人との関わりについて理解を深めることができる。</p> <p>○ 障がいのある人との交流を通して、好ましい人間関係や社会経験の拡大を図ることができる。</p> <p>○ パラリンピックで活躍する選手の話聞き、パラリンピックを身近に感じ、困難なことがあっても諦めずに目標に向かって努力し、困難への向きあい方を考えることができる。</p>
5 取組内容	<p>(1) 人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科：特別の教科道徳 ・ 場所：各学級 ・ 対象：1年生1，2組（52人） <p>障がいのある人との関わりについて考えを深めるため、「バリアフリーな心」をテーマに、物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための方法について考える。</p> <p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーの意味 ・ パラリンピックの意義 ・ 右手の無いラグビー部の仲間。仲間だからこそ障がいにとらわれない関わりができることの素晴らしさ。



	<p>(2) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業オンライン講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科：総合的な学習の時間 ・ リモートによる講演会 ・ 場所：プラネタリウム室 ・ 対象：1年生（52人） <p>東京パラリンピック出場、車いすバスケットボール女子日本代表キャプテン網本麻里選手によるリモートによる講演を視聴する。</p> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①講師紹介 ②講演 ③質疑応答 ④お礼の言葉（生徒） <p>※ 講演終了後、感想書き</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある人との関わりについて深く考え、これからどのように行動していくか考えるよい機会となった。 ○ 網本さんの講話を聞いて、多くの生徒が感想に、やる前から諦めてしまう自分、嫌なことから逃げる自分を反省することなどを書いてきた。また、何事にも挑戦しようとする前向き気持ちの大切さなどを書いており、自己を振り返るよい機会となった。 ○ オリンピック・パラリンピックについて興味を深め、実際に、障がいの有無にかかわらず、スポーツを通して楽しむこと、喜び合うことを体験できることを知り、共生社会を目指そうという気持ちが高まった。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心を高めるために、例年行っている人権学習にパラリンピックを取り上げた。 ○ ソーシャルスキルトレーニングなど「自己肯定感」を高める活動や「仲間づくり」を意識した活動を計画的に行った。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、職員間で共通理解が図られず、計画的に活動を進めることができなかった。 ○ オリンピック・パラリンピックについて、教育課程にどのように組み込んでいくかが課題である。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間の人権学習内容に、パラリンピック教育推進教材「I'm POSSIBLE」の活用を検討していく。 ○ 年度当初の学級づくりのレクリエーションで、パラリンピックで行われている競技（ボッチャ等）を設定できるようにする。